

福岡県

伝統
工芸品
マップ

もくじ

- 1p はじめに
2p 本書の読み方

●経済産業大臣指定伝統的工芸品

- 3p ① 博多織
4p ② 博多人形 ③ 小石原焼
5p ④ 上野焼 ⑤ 久留米絊
6p ⑥ 八女福島仏壇 ⑦ 八女提灯

●福岡県知事指定特産民芸品

- 7p ⑧ 孫次風 ⑨ 八朔の馬 ⑩ 津屋崎人形
8p ⑪ 福岡積層工芸ガラス ⑫ 博多曲物 ⑬ 博多鉢
9p ⑭ 博多張子 ⑮ 博多独楽 ⑯ うもそ
10p ⑰ 杷木五月節句幟 ⑱ 英彦山がらがら ⑲ 棕櫚箒
11p ⑳ 久留米おきあげ ㉑ 藍胎漆器 ㉒ 城島鬼瓦
12p ㉓ 筑後和傘 ㉔ 鍋島緞通 ㉕ 八女手漉和紙
13p ㉖ 八女石灯ろう ㉗ 八女竹細工 ㉘ 八女矢
14p ㉙ 八女和ごま ㉚ 赤坂人形 ㉛ きじ車
15p ㉜ 掛川 ㉝ 大川総桐筆筥 ㉞ 大川彫刻
16p ㉟ 大川組子 ㊱ 柳川まり ㊲ 柳川神棚

●県内工芸品の新たな試み・コラボ作品

- 17p INORI、博多テックスLLP(有限責任事業組合)、
ナッティーラビット、小石原ポタリー、COCCIO
18p サルエルパンツ、久留米絊日傘、小型仏壇、
提灯バッグ、MAKIE HAGAKI

●県内工芸品の制作実演・体験ができる工房

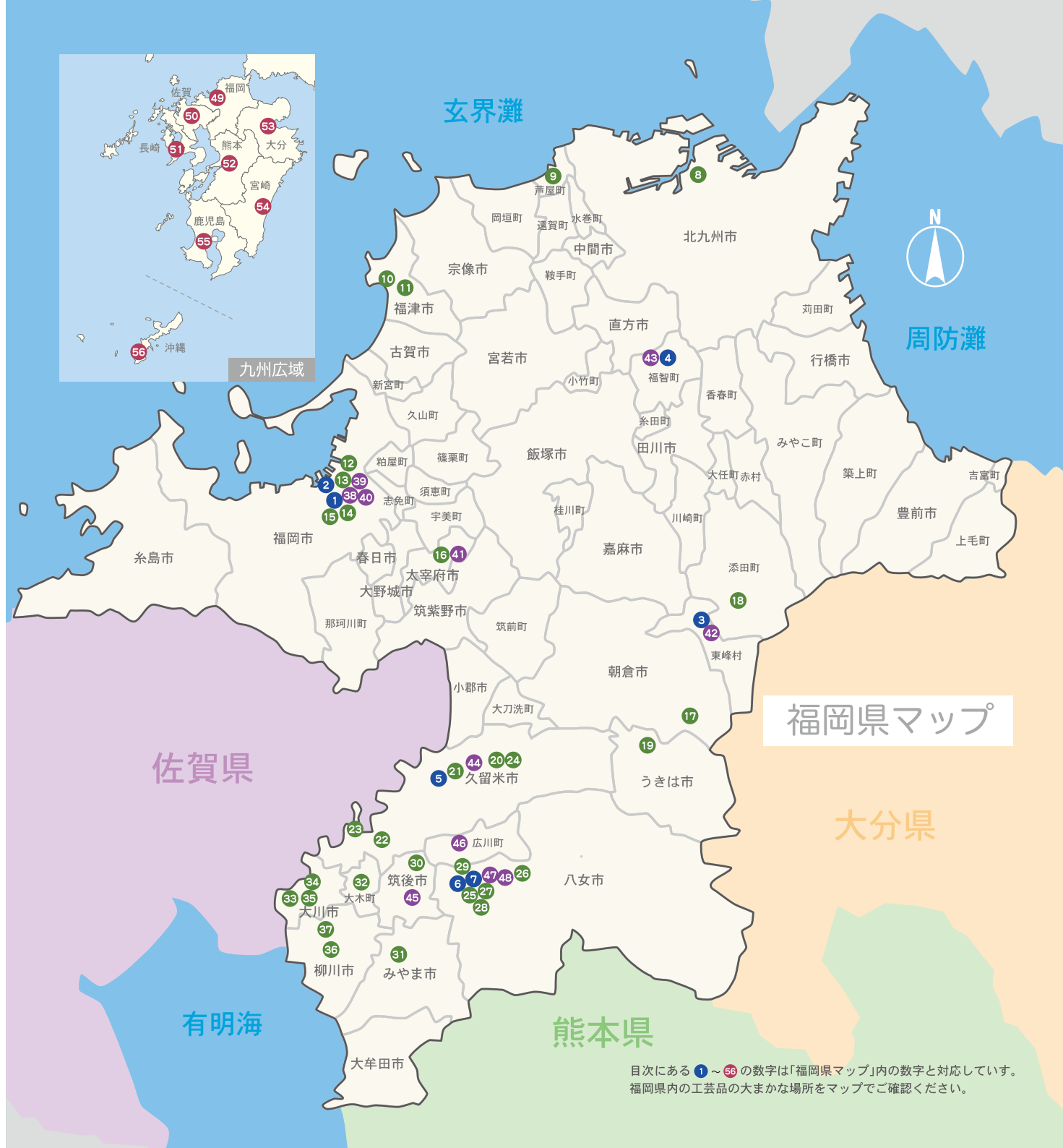
- 19p KITE HOUSEまごじ、井上工房、博多織工房 白南風、
有限会社マルティグラス、筑前津屋崎人形巧房、
森博多織株式会社、天平工房
20p 英彦山がらがら鈴類窯元、まごころ工房 棕櫚の郷、
一の瀬焼窯元、きじ車みやもと、大川一刀彫館、
木下木芸、古賀神棚店、ハラダ手芸店

●工芸品関連施設(県内市町村)

- 21p ㉟ アクロス福岡 匠ギャラリー
㊱ はかた伝統工芸館 ㊲ 「博多町家」ふるさと館
22p ㊳ 太宰府館 ㊴ 小石原焼伝統産業会館
㊵ 上野の里ふれあい交流会館(陶芸館)
㊶ 久留米地域地場産業振興センター
㊷ 筑後市郷土資料館 ㊸ 広川町産業展示会館
㊹ 八女伝統工芸館 ㊺ 八女手すきと紙資料館

●九州沖縄各県工芸品関連施設

- 23p ㊻ 福岡県庁展望室・物産観光展示室
㊼ 佐賀県産業振興センター
㊽ 長崎県伝統工芸品展示場「ながさき匠の館」
㊾ 熊本県伝統工芸館
24p ㊿ 別府市竹細工伝統産業会館
㊽ 佐土原歴史資料館「鶴松館」
㊾ 奄美の里
㊿ 那覇市伝統工芸館



目次にある①～㊿の数字は「福岡県マップ」内の数字と対応しています。
福岡県内の工芸品の大まかな場所をマップでご確認ください。

はじめに

古代には大宰府を中心に大陸との交流の玄関口として貿易が盛んに行われ、人や物の行き来が絶えなかった福岡県にはたくさんの文化や工芸品が生まれてきました。

さらに江戸以降は三方を海、南は山という豊かな自然風土に恵まれた土地として、それぞれの地域の特色をもった文化が花開いていきます。

そんな福岡県で育まれてきた伝統工芸品は、どれも今なお人々の生活に根差し、あるものは日常的に、またあるものは特別な日に、重宝されています。

世界からも注目を集める、福岡の歴史が築き上げてきたさまざまな工芸品。

県民の財産ともいえるこれらの工芸品たちを、ひとつずつ紹介していきましょう。

本書の読み方

【住】…施設の住所です。

【問】…お問い合わせ先の電話番号です。

【時】…工芸品を展示している施設の開館時間です。

季節や行事により変わることがあります。

【休】…休館日です。季節や行事により変わることがあります。

【料】…通常時の入館料金。特別展についてはこの限りではありません。

団体割引、障害者割引、シルバー割引等、各種割引についてはお問い合わせください。

【交】…最寄りの公共機関の紹介です。

【所】…イベントが開催される場所です。

  …このアイコンが付いているページについては、19～20ページで詳しくご紹介しています

●掲載されている内容は、市町村、各県が推薦された情報を基に制作しています。

●各伝統的工芸品、民芸品の問い合わせ先には、業界団体の代表番号や技術を受け継いでいる個人や会社の番号を掲載しています。なかにはお一人で作り続けている方など、電話がつながりにくい場合もありますので、予めご了承ください。

●各施設・情報紹介に付いているMAP00は差し込みの「福岡県マップ」の番号と対応しています。

●「県内工芸品の制作実演・体験できる工房」や「工芸品関連通年イベント」は2012年の情報をもとに制作しています。日程など変わることがありますので、ご利用前に詳細をお問い合わせください。

経済産業大臣指定伝統的工芸品とは？

伝統的工芸品産業の振興に関する法律に基づき、経済産業大臣より指定された日本の伝統工芸品を指し、一般的には主として日常生活で使用されるもの、主要工程が手工芸であるもの、伝統的技術や技法が用いられ一定の地域で産地形成されているものが選ばれています。福岡県内では2013年1月現在、7品目がこの指定を受けています。

福岡県知事指定特産民芸品とは？

福岡県の歴史と風土が育んだ、郷土色豊かな伝統工芸品に与えられる指定。技術や技法が50年以上の歴史があるなど、一定の伝統性を有しているのが条件です。2013年1月現在、30品目がこの指定を受けています。



「美人もの」「歌舞伎もの」「能もの」「童もの」「節句もの」などのモチーフがある博多人形。当地では約800年前から素焼きの人形を愛でる習慣があったと確認されており、黒田長政が筑前に入国した頃には職人たちによって現在の下地が作られ、江戸時代後半には名工たちの登場により全国的に有名になったと言われています。現在も多くの作家が活躍し、福岡のみならず日本の「美」を代表する存在として国内外から高く評価されています。



博多人形

はかたにんぎょう [福岡市ほか]

博多人形商工業協同組合

[問] ☎092-291-4114

●MAP2



鎌倉時代、一人の僧と博多商人が宋へと旅立ち、織物の技法を習得したのが始まりという博多織。それから何代にも亘って改良を重ね、琥珀織のように生地が厚く、浮線紋(ふせんもん)や柳条(りゅうじょう)などの模様の浮き出た厚地の織物が作り出されました。現在、さまざまな製品に使用されていますが、代表格はやはり帯。特に、丹念かつ頑丈に織り込まれた絹糸は「朝締めても夕方まで緩まない」と評され、男帯は博多祇園山笠でも愛され続けています。

博多織

はかたおり [福岡市ほか]

博多織工業組合

[問] ☎092-472-0761

●MAP1



もともと地元の農家には水ガメ等の日常品を窯で焼く文化があった小石原地方。この地に、福岡藩黒田家三代藩主光之が肥前伊万里の陶工を招き、小石原焼の基礎が完成したと言われています。その後昭和30年代に民芸・陶芸ブームが訪れ、質実剛健の素朴な風情が全国的にも知られるようになりました。指やカンナ、鉄片などを用いて装飾を施す技や道具も、普段の生活から生まれたもの。生活の知恵が生きた作品は、いつもの暮らしの中で「使う」ことによりその魅力が増す「用の美」を兼ね備えています。



小石原焼

こいしわらやき [東峰村]

小石原焼陶器協同組合

[問] ☎0946-74-2266

●MAP3



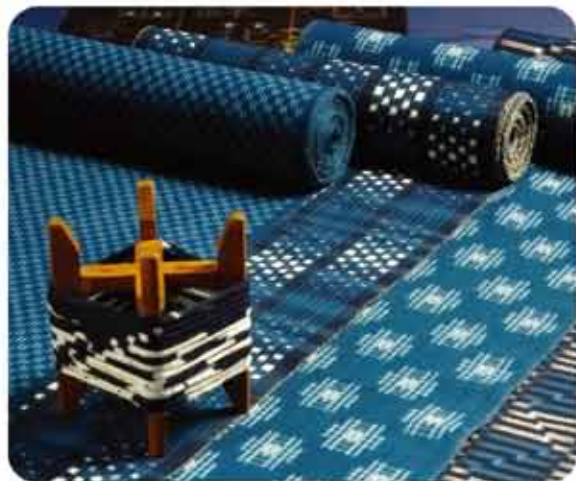


「緑青流し」に代表される釉薬(ゆうやく)の色遣いが特徴的な上野焼。小倉藩主の細川家・小笠原家の御用窯として珍重され、江戸時代には遠州七窯の一つに選ばれるほど茶人に好まれてきました。特に上野焼の薄づくりは重すぎず、軽すぎずという程よい重量と質感で、長い伝統に培われた高い技術が生み出したもの。現在では20軒の窯元が長い伝統から生まれた多彩な技法を受け継ぎ、独自の美しさや気品をもった作品を作り続けています。

上野焼

あがのやき【福智町】

上野焼協同組合
[問] ☎0947-28-5864
●MAP4



江戸後期に井上伝(いのうえ でん)によって生み出された久留米絣は、図案づくり、括り(くくり)、染め、織り等、複数の高度な技術の工程を経て生まれる重厚な質感が魅力。江戸時代より筑後川の肥沃な沿岸一帯で綿花が栽培されていたことから、この地で広まりました。木綿の糸を麻で括り、藍染めしてまだら模様を作り、別の染めパターンの糸を縦横に織り合せることで様々な布面が生まれます。

久留米絣

くるめかすり【久留米市、筑後市、広川町ほか】

久留米絣協同組合
[問] ☎0942-44-3701
●MAP5



江戸後期、ある大工が夢見た壮麗な仏閣を仲間とともに再現したのが始まりと言われています。重厚な漆塗り、華麗な金箔や蒔絵、精巧な宮殿や彫刻、そして金具細工。職人の技と贅の極みを施した華麗な姿は、仏壇の中にある屋根や柱など細かな部分を作る宮殿師、仏壇上部を飾る鳥や花などの図柄を彫る彫刻師、彫刻に箔押し用の漆を塗り、金箔を乗せて仕上げていく塗師など80以上の工程を専門の職人の手により、分業制で仕上げられます。



八女福島仏壇

やめふくしまぶつだん【八女市ほか】

八女福島仏壇仏具協同組合
[問] ☎0943-24-3941
●MAP6



江戸時代、文化年間(約200年前)ごろに現在の八女市で生まれた「場提灯(ばちょうちん)」がそのルーツ。安政年間(約150年前)には一条螺旋の製法や薄い手漉ぎ(てすぎ)和紙の導入などその基礎が築かれました。その後も明治、大正と進化を続け、長い筒の形をした「住吉」や吊り提灯「御殿丸」そして現在最も一般的な「行灯」などが作られています。八女地方の竹や澄んだ水から生まれる和紙、絹などを素材にして誕生した、筑後文化の粋を集めた逸品です。



八女提灯

やめちょうちん【八女市ほか】

八女提灯協同組合
[問] ☎0943-22-5161
●MAP7





孫次凧

まごじだこ [北九州市] 体験OK

かいと はうす
KITE HOUSE まごじ
[問] ☎093-881-4537
●MAP8

海に近く風が強い北九州地方では昔から凧あげが盛んでした。明治末期に竹内孫次が作り始めた「孫次凧」のように、各地の名人たちが自らの名前を冠してそれぞれのエリアを代表するもの(若松のかっぱ、門司のふぐ等)を作っています。孫次凧の主題となっているのは「つくつくぼうし」と言われています。

福岡積層工芸ガラス

ふくおかせきそうこうげいがらす [福津市ほか] 体験OK

有限会社マルチグラス
[問] ☎0940-34-5370
●MAP11

「マルチグラス」の名前で親しまれている工芸品。性質の異なる素材を何層にも重ねるのが特徴で、高い透明度や豊かな曲線、そして代々受け継がれる数百種類以上に亘る鮮やかな色から生まれる装飾品や食器は、人々の目を楽しませてくれます。約100年前から製造されている比較的新しい文化です。



八朔の馬

はっさくのうま [芦屋町] 体験OK

井上工房
[問] ☎093-223-1894
●MAP9

男の子の八朔(旧暦8月1日)の初節句に祝いとして近隣住民に配る素朴な贈り物。300年の歴史を持つこの祝いは現在も新暦9月2日の早朝に行われています。地元の蔓を濡らし、木の台で叩いて柔らかくして編みこんでいくこの工芸品には、馬の背中に黒田長政などの名武将を乗せ「元気で勇壮に育つように」という願いが込められています。



博多曲物

はかたまげもの [福岡市]

柴田徳五郎商店
[問] ☎092-651-0470
●MAP12

御飯のおひつとしては、無駄な水分を飛ばし適度な湿度を保つという特性があるため現代でも寿司職人や多くの料理人に愛されている、古来より重用してきた生活道具。使い方、手入れ次第では半世紀に亘って使用可能とも言われます。昭和初期、鉄道の開通とともに弁当箱として広く使われるようになりました。



津屋崎人形

つやぎにんぎょう [福津市] 体験OK

津屋崎人形振興組合
[問] ☎0940-52-0419
●MAP10

約200年の歴史を持つ素朴な素焼きの人形。職人の家に代々伝わる土や石膏の「二枚型」の手押し製法で作られており、重厚な安定感に魅力があります。顔料と水とニカワを調整して彩色した姿は、力強く色鮮やか。時代を反映した「風俗人形」や縁起が良いとされるフクロウの形をした「モマ笛」などが良く知られています。

博多鋏

はかたばさみ [福岡市]

高柳商店
[問] ☎092-291-0613
●MAP13

鎌倉時代、南宋から博多へ移り住んだ貿易商人・謝国明が博多に持ち込んだ唐鋏(とうばさみ)に由来します。かつては幕府への献上品として博多の刀鍛冶師たちの手によって作られていました。土台部分「地金」と、刃部分「鋼(はがね)」の鍛接(たんせつ)など職人技を随所に見ることができ、鋭い切れ味が特徴です。





博多張子

はかたはりこ [福岡市ほか]

中尾俊雄商店
[問] ☎092-325-0241
●MAP 14

木製や石膏製の型に和紙などを幾重にも重ねて成形する博多張子は、江戸中期に上方の人形師によって伝えられました。布苜(ふのり)によって貼り付け天日干しで乾燥させたり、その後二つに割って型から取り出して貼りあわせながら成形したりと、現在も昔ながらの手の込んだ製法で作られています。

杷木五月節句幟

はきごがつせっくのぼり [朝倉市]

米山染工場
[問] ☎0946-62-0340
●MAP 17

旧杷木町地域は筑後川の豊かな水が色染めの作業に適していたため、幟の生産が盛んでした。この地で作られる節句幟は、染めの鮮やかさと豊臣秀吉、加藤清正など武将をあしらった勇壮な姿で、地元の人々に親しまれています。江戸時代から続く端午の節句に飾られる工芸品です。



博多独楽

はかたこま [福岡市ほか]

博多独楽保存会
[問] ☎092-558-4630
●MAP 15

約400年前に初めて日本発祥ゴマとして誕生した「博多独楽」。中国より子どもの玩具として伝来していた唐ゴマと大きく違うのは、木台に鉄芯を打ち込む「心棒」を持っていることです。心棒により回転時のバランスが保ちやすく、よく回るので独楽自体の可能性を飛躍的に向上させ、曲芸独楽の文化を生み出す起源にもなりました。



英彦山がらがら

ひこさんがらがら [添田町] 体験OK

篠崎嘉文
[問] ☎0947-85-0169
●MAP 18

日本最古の約800年の歴史を持つ土鈴。文武天皇が英彦山に奉納した鈴が由来とされ、戦乱の際、参拝者に分けたのが起源とされています。素焼きならではの清楚なガラガラという音色が特徴で、現在でも家々の玄関や門前に飾られる魔除けとして、また田畑の水口に埋め、災害を避けるためのお守りとして重宝されています。



木うそ

きうそ [太宰府市]

太宰府木うそ保存会
[問] ☎092-922-4345
●MAP 16

1591年、うその群れが太宰府天満宮造営の邪魔をしていた蜂の大群を退治したことから、天神様の使いの鳥と言われるようになりました。このうそが木に留まっている姿を表現しています。ノミの一刀彫で薄く幾重にもカールさせて作っている羽根が特徴。幸運の守り神として親しまれています。

棕櫚箒

しゅるぼうき [うきは市] 見学OK

浮羽棕櫚箒保存会
[問] ☎0943-77-2212
●MAP 19

棕櫚の繊維質には埃を吸い付かせる機能があり、これで毎日床掃除をすると棕櫚の皮の油分がなじみ、自然と床につやが出てきます。また、長年にわたって使用できる丈夫さを兼ね備えているため古くから親しまれ、30年前までは農家の休耕期の副業として多くの地方で生産されていました。今もなお、日常に根差した生活用品として愛用されています。





久留米おきあげ

くるめおきあげ [久留米市]

福岡県商工部中小企業振興課

[問] ☎092-643-3419

●MAP20

羽子板や壁掛けなどに下絵を描き、布や綿を使い立体的に盛り上げる押絵細工のことを福岡では「おきあげ」と呼びます。諸説には、有馬藩の参勤交代の際に土産として押絵が持ち込まれたのではないかとされています。明治、大正までは面目師など専門の職人もいましたが、今では主婦たちによってその製法が受け継がれています。

筑後和傘

ちくごわがさ [久留米市ほか]

城島和傘保存会

[問] ☎0942-62-1137

●MAP23

17世紀初めに地元の日吉神社の神官が副業としたことが発祥とされ、柄や傘骨の材料となる真竹が筑後川経由で入手できたこと、和紙や柿渋の名産地が近かったこと、技術を持つ職人が多かったことなどを背景に和傘の一大生産地となりました。複雑な100以上の工程からなる細工が施された、美しさと実用性を兼ね備えた工芸品です。



藍胎漆器

らんたいしっき [久留米市]

久留米藍胎漆器組合 (地場産くるめ内)

[問] ☎0942-44-3700

●MAP21

竹で編んだ器に漆をかけ、幾重にも研ぎだして装飾加工を施し仕上げた、美しく、且つ丈夫な器。京都の名高い塗物師・勝月半兵衛を久留米藩に招いてつくった堅地塗の伝統を基礎とし、明治20年頃茶人の豊福勝次、竹細工師の近藤幸七、塗師の川崎峰次郎の3人が力を合わせて造りだしたものだと言われています。



鍋島緞通

なべしまだんつう [久留米市ほか]

有限会社鍋島緞通吉島家

[問] ☎0952-24-0778

●MAP24

元禄年間(約300年前)に中国からの技術を習得し「扇町毛氈(おうぎまちもうせん)」として織ったのが始まりで、日本最古の綿緞通といわれています。海外の緞通が羊毛製であるのに対し、こちらは当時地元で多く採れていた木綿糸を使っているため、高温多湿の日本の気候に合い、肌触りも良いと多くの人々に愛されています。



城島鬼瓦

じょうじまおにがわら [久留米市]

城島鬼瓦組合

[問] ☎0942-64-3649

●MAP22

関ヶ原の戦いの後、久留米藩主として入城した有馬氏により始まった城島の瓦づくり。優美な光沢と格調高い姿形・耐久性に定評があり、九州各地の神社や仏閣・日本家屋などに使われています。屋根の端を飾る「鬼瓦」は、威しい形相の鬼の顔はもちろん、雲や菊など様々な形状を模した魔除けとして一家を守ります。

八女手漉和紙

やめてすきわし [八女市ほか]

八女手漉和紙組合

[問] ☎0943-22-3131

●MAP25

400年以上前、越前の僧・日源上人が矢部川の地理や水質が製紙に適しているのを見て加工術を伝授したことに始まる八女手漉和紙。この地方特有の長い繊維の楮(こうぞ)を用いるので、他産地にはない強靱な和紙ができるのが特徴です。繊維が太く腰が強く、耐久性に富んでいるため、掛軸や障子紙、ふすまの内張りなどに重宝されています。





八女石灯ろう

やめいしとうろう [八女市]

八女石灯ろう協同組合

[問] ☎0943-24-1185

●MAP26

この地域から多く産出される凝灰岩(ぎょうかいがん)は、軽くて軟らかく風化しやすい石材で、細かい細工に向かない反面、寒さや熱に強く石苔を早くつけやすいなど、庭灯ろうに最も適した石質を持っています。江戸時代から石橋づくりなど多くの石工が活躍しており、それに伴って石灯ろうの生産も盛んになりました。

八女和ごま

やめわごま [八女市]

隈本木工所

[問] ☎0943-22-2955

●MAP29

樹齢30年以上のまっすぐに伸びた木を、約1年を費やして乾燥させるなど長期間の工程により作られる八女和ごま。上面の中央部にある大きくくぼんだ「ヘソ」が特徴です。この木の芯がこまの中心に正確にあることが、こまを長く、勢いよく回すために重要であり、熟練の技が要求されます。



八女竹細工

やめたけざいく [八女市ほか]

八女伝統工芸館

[問] ☎0943-22-3131

●MAP27

赤土の粘土性が高く、良質の真竹と孟宗竹(もうそうちく)に恵まれている八女地方。ここで約300年に亘り作られている八女竹細工は緑巻きの仕上げの丁寧さが特徴で、巻きヒゴは一気に10m前後の薄いヒゴを作り、籠の縁にしっかりと巻きつけます。染料も接着剤も使わないにも関わらず、5〜60年は実用品として使用できる耐久性に優れた逸品です。



赤坂人形

あかさかにんぎょう [筑後市]

のぐち こういち

野口紘一

[問] ☎0942-52-8647

●MAP30

江戸時代中期、有馬藩の御用窯として栄えた赤坂焼の産地で陶工たちの余技として造られたもの。筑後の古い方言「不器用な人」を意味する「ててっぼっぼ」という別名で呼ばれるこの人形は、その名の通り、型を合わせる際にはみ出した部分を残したまま、彩色も簡素にされています。素朴さにあふれた温かい土人形です。



八女矢

やめや [八女市ほか]

まつぶ

松延矢製作所

[問] ☎0943-22-4501

●MAP28

竹を炭火で炙り、まっすぐに伸ばす「あらため」という技法や、羽根のカットなど全て手作業で作られる八女矢。四本が一組となるため、長さ・重さ・節の位置・矢羽根がすべて均一に揃えられていることが基本です。矢作りに適した良質な篠竹が豊富であること、江戸時代後期に有馬藩お抱えの矢師が移り住んだことなどが、この地に矢師が多い理由と考えられています。

きじ車

きじぐるま [みやま市]

きよみず

清水きじ車保存会

[問] ☎0944-64-1523

●MAP31

素朴なかかわいらしさをたたえた、九州を代表する木製玩具。開運や縁結び、家庭円満への「道案内」をすると伝えられ、北原白秋の詩に詠まれたことで全国に知られるようになりました。乾燥させた松や桐を材料に、釘を使わずセン刀と呼ばれるナター一本で形を整え、絵付けが施されています。





掛川

かけがわ【大木町ほか】

福岡県花筵協同組合

【問】☎0944-32-1010

●MAP32

仏前用の敷物として使われる「掛川」は、い草の産地として知られる筑後一帯で古くから生産されています。い草特有の爽やかな香りと鮮やかな色彩には風格があり、折目目が詰まった独特の足触りが特徴です。40年ほど前までは大木町周辺の女性の内職として盛んに織られていました。今なお筑後の多くの家庭で愛用されています。

大川組子

おおかわくみこ【大川市】体験OK

大川組子振興会

【問】☎0944-86-4023

●MAP35

約300年の歴史を誇る美しさと緻密(ちみつ)さを兼ね備えた工芸品。三組手(みつくで)と呼ばれる三角形の地組みの中に、200以上もの図柄の組木を組み上げる技術には、数ミクロン単位を調整できる職人の勘が必要だと言われています。見た目は華奢(きゃしゃ)でもそれぞれの部材が精巧に噛み合い、一枚の板のような頑丈さとなります。



大川総桐箆笥

おおかわそうぎりたんす【大川市】

大川桐箆笥振興会

【問】☎0944-86-3938

●MAP33

調湿や保湿効果・難燃性に加え、防虫効果もある桐は日本の風土にあった木材です。そんな桐の特性を最大限に活かして造られる大川総桐箆笥は、木目の美しさが魅力で、最上の柾目(まさめ)の厚板を用いた、緻密な職人技で作られています。引出しの奥には空気の抜け穴となるからくりがあるなど、素材を知り尽くした技が随所に見られます。



柳川まり

やながわまり【柳川市】体験OK

柳川まり保存会

【問】☎0944-72-2909

●MAP36

柳川地域に古くから伝わる、女の子の初節句のひな壇飾りである「さげもん」に欠かせない細工として現代に受け継がれています。作り方は、糸状の木片を丸めたものに、綿と毛糸で成形をし、そこに草木染の木綿糸をそれぞれの柄にそった繊細な比率で巻きつけながら刺繍をします。



大川彫刻

おおかわちょうこく【大川市】見学OK

大川ランマ彫刻振興会

【問】☎0944-86-2934

●MAP34

大川彫刻は薄物の屋久杉などを使い、木目の繊細な線の美しさを生かすことで立体感を出す伝統の透かし彫りです。その技術は立花藩の立川流の流れを汲み、江戸末期には神社仏閣の装飾品が多く作られました。昭和に入るところにその高い技術は一般化し、日本家屋の実用性と装飾性を兼ねた様式として重宝されています。

柳川神棚

やながわかみだな【柳川市ほか】体験OK

柳川神棚組合

【問】☎0944-72-4461

●MAP37

江戸時代に八女仏壇の職人たちが副業として造ったのが起源とされる柳川神棚。その発祥から、他の地方の神棚とは一線を隔す、仏壇作りの技法が随所に見られるのが特徴的です。九州産の良質な桧を素材としており、屋根や扉の形状によって「太宰府型」「伊勢型」「出雲型」などいろいろな型があります。



INORI

サヌイ織物・特定非営利活動法人まる



[展示・販売]サヌイ織物、工房まる 他
[問]サヌイ織物 ☎092-883-7077

障がい福祉サービス事業所「工房まる」所属のアーティストにより描かれた「絶滅危惧種の野生動物」を博多織小物にしたもの。売上の一部は環境保護に役立てられています。「INORI」には「命」「織り」「祈り」の3つの言葉が含まれています。

博多テックスLLP(有限責任事業組合)

原田織物・筑前織物・サヌイ織物



[問]博多テックス ☎092-431-7721 ✉info@hakatatex.jp

博多織の伝統を受け継ぐ3社の織元が、それぞれの持ち味や得意分野を活かして、新しい博多織のあり方を提案しています。博多織をモダンにインテリアとして楽しんだり日々の生活に取り入れるようスマートフォンのケースやタブレットケースなども作っています。

サルエルパンツ

丸亀絣織物工場



[展示・販売]丸亀絣織物工場
[問]丸亀絣織物工場 ☎0943-32-0048

伝統工芸である久留米絣を現代のニーズに合わせて、小物から洋服に至るまでさまざまな衣料品を提案しています。現代の生活のなかで久留米絣がなじむように、サルエルパンツやハーフパンツなど着心地の良い作品が人気です。

久留米絣日傘

坂田織物



[展示・販売]有限会社坂田織物
[問]坂田織物 ☎0943-32-1402

久留米絣の特徴である通気性の良さを活かして、夏の日差しを熱を避けながら風を通すという機能性とデザイン性を兼ね備えた日傘(2002年グッドデザイン賞受賞)。紫外線をカットするオリジナル製法の「筑後もめん」を使用しているので、涼しげな見た目でありながら、しっかりと熱と紫外線を遮ります。

ナッティーラビット

ふみお人形



[展示・販売]ティグルプロカンテ、ラバンプロカンテ 他
[問]ティグルプロカンテ ☎092-761-7666

地元のアパレルメーカー「天空丸」の依頼によって制作したキャラクター博多人形です。以後、多くのパリエーションが作られ、天空丸の直営店を中心に全国の洋服、雑貨のお店にて販売されています。

伝統工芸品
進化中！

福岡県を代表するさまざまな伝統的工芸品の中から、現代の生活習慣や時代のニーズに合わせた新しい作品が生まれています。技術を継承しながらも、新たなステージを迎えようとしている最新の伝統工芸品をご紹介します。

小型仏壇

八女福島仏壇仏具協同組合



[展示・販売]八女伝統工芸館
[問]八女福島仏壇仏具協同組合 ☎0943-24-3941

現代の住宅事情を考慮して、マンションにも置ける小型タイプの仏壇。小型でももちろん八女福島仏壇の全ての技術を結集しており、小さな細部までこだわった職人技が光っています。

小石原ポタリー

東峰村商工会



[展示・販売]小石原ポタリーギャラリー、スリービーポッターズ(薬院)、Tokineri(J R 博多シティ)
[問]東峰村商工会 ☎0946-74-2121

小石原の10軒の窯元とフードコーディネーター・長尾智子氏のコラボレーションによって「料理をおいしくする器」をテーマに、どんな料理ともマッチする、現代の食卓に合う器を提案。新しい日本の民芸モダンイズムです。

COCCIO(コッチョ)

小石原3窯元



[展示・販売]ヤマイチ窯、早川窯、カネハ窯、MUJI キャナルシティ博多
[問]カネハ窯 ☎0946-74-2203
MUJI キャナルシティ博多 ☎092-282-2711

小石原の3つの窯元とディレクター・城谷耕生氏、九州大学芸術工学研究院の池田研究室がスタートしたコラボレーションプロジェクト。皆で集まって食事をする機会が少なくなってしまった現代の生活に、大勢で囲む食卓の幸せを提案する食器シリーズです。

提灯バッグ

八女提灯協同組合



[展示・販売]八女伝統工芸館
[問]八女商工会議所 ☎0943-22-5161

「提灯をそのままバッグに」というコンセプトで作られた、斬新なファッションアイテム。八女提灯の胴体部分をそのままバッグの外装として使用しているため、提灯のように伸縮するとともに内部の巾着の柄が透けてみえるようになっています。

MAKIE HAGAKI

伊藤工芸



[展示・販売]八女伝統工芸館
[問]八女商工会議所 ☎0943-22-5161

仏壇や盆提灯の木部に使われている、日本独自の漆芸技法「蒔絵」の技術を駆使して作られた、高級感ある絵巻書です。漆で描いた上に金粉や銀粉を蒔いて絵を描いているため、同じ絵柄でも一つひとつ色や光り方が異なります。ウェディングの引き出物やインテリアにも最適。

制作実演・体験ができる工房

※各市町村から推薦があった施設を掲載しています

わら馬の制作体験

住 所 遠賀郡芦屋町白浜町4-18
問い合わせ先 井上工房
 ☎093-223-1894
開 館 時 間 10:00~17:00
休 館 日 月曜日
駐 車 場 3台
ア ク セ ス JR遠賀川駅よりバス「芦屋中学校前」下車、徒歩5分
実 演・体 験 わら馬の制作体験1,000円(材料費含む)／1時間程度※要予約

マルティグラスの制作体験

住 所 福津市宮司3-18-2
問い合わせ先 有限会社マルティグラス
 ☎0940-34-5370
開 館 時 間 9:00~17:00
休 館 日 お盆、12月29日~1月3日
駐 車 場 10台
ア ク セ ス JR福岡駅よりバス「宮地岳宮前」下車、徒歩10分
実 演・体 験 マルティグラス制作体験3,000円／60分※要予約

博多織の工房見学

住 所 糟屋郡宇美町桜原3-4-7
問い合わせ先 森博多織株式会社
 ☎092-332-0577
開 館 時 間 9:00~17:00
休 館 日 日曜日、祝日、お盆、年末年始
 ※土曜日は不定期
駐 車 場 10台
ア ク セ ス JR宇美駅より徒歩15分
実 演・体 験 機械織りの制作工程の見学※要予約

まごころ 孫次風の制作体験

住 所 北九州市戸畑区新池1-6-4
問い合わせ先 KITE HOUSE(カイトハウス) まごじ
 ☎093-881-4537
開 館 時 間 10:00~18:00
休 館 日 不定休
駐 車 場 なし
ア ク セ ス JR戸畑駅より徒歩10分
実 演・体 験 制作体験・材料費のみ実費※5人まで※要予約

博多織の工房見学

住 所 宗像市稲元7-9-10
問い合わせ先 博多織工房 白南風(しらはえ)
 ☎0940-72-4915
開 館 時 間 10:00~17:00
休 館 日 不定休
駐 車 場 3台
ア ク セ ス JR赤間駅よりバス「日焼原」下車、徒歩5分
実 演・体 験 手織の制作工程の見学※要予約

津屋崎人形の制作体験

住 所 福津市津屋崎3-14-3
問い合わせ先 筑前津屋崎人形巧房
 ☎0940-52-0419
開 館 時 間 9:30~18:30
休 館 日 第2第4水曜日
駐 車 場 なし
ア ク セ ス JR福岡駅よりバス「商工会津屋崎支所前」下車、徒歩5分
実 演・体 験 絵付け体験料600円~／2時間程度※3人以上※要予約

博多人形の工房見学

住 所 糸島市前原中央3-9-30
問い合わせ先 天平工房
 ☎092-323-0975
開 館 時 間 9:00~18:00
休 館 日 不定休
駐 車 場 なし
ア ク セ ス JR筑前前原駅より徒歩8分
実 演・体 験 工房見学

ひこさん 英彦山がらがらの制作体験

住 所 田川郡添田町大字落合1752
問い合わせ先 英彦山がらがら鈴類窯元
 ☎0947-85-0169
開 館 時 間 8:30~16:30
休 館 日 無休
駐 車 場 20台
ア ク セ ス JR英彦山駅より徒歩25分
実 演・体 験 英彦山がらがら制作体験300円※要予約

一の瀬焼の制作体験

住 所 うきは市浮羽町朝田
問い合わせ先 うきは市観光協会
 ☎0943-77-5611
開 館 時 間 9:00~17:30
休 館 日 各窯元により異なる
駐 車 場 あり
ア ク セ ス JRうきは駅より車で5分
実 演・体 験 ※問い合わせ先はうきは市観光協会です。希望内容に合わせて、市内6窯元をご紹介します。

大川一刀彫の工房見学

住 所 大川市大字向島2466-1
問い合わせ先 大川一刀彫館
 ☎0944-87-3356
開 館 時 間 8:00~19:00
休 館 日 日曜日
駐 車 場 なし
ア ク セ ス 西鉄柳川駅より車で15分
実 演・体 験 実演見学あり※要予約

神棚の制作体験

住 所 柳川市横山町10
問い合わせ先 古賀神棚店
 ☎0944-73-2237
開 館 時 間 7:30~18:00
休 館 日 不定休
駐 車 場 4台
ア ク セ ス 西鉄柳川駅より徒歩15分
実 演・体 験 宝くじ入れ神棚作り体験／毎月第1日曜(11月~1月除く)13:30~／90分程度／1,500円(材料費込)※最大10人※前日までに要予約※体験は中学生以上

しゅろほうき 棕櫚箒の工房見学

住 所 うきは市浮羽町浮羽301
問い合わせ先 まごころ工房 棕櫚(しゅろ)の郷
 ☎0943-77-2212
開 館 時 間 9:00~17:00
休 館 日 日曜日、祝日
駐 車 場 5台
ア ク セ ス JRうきは駅・筑後吉井駅より車で5分
実 演・体 験 体験内容等はお問い合わせください

きじ車の絵付け体験

住 所 みやま市瀬高町下庄2189
問い合わせ先 きじ車みやもと
 ☎0944-62-2555
開 館 時 間 9:00~17:00
休 館 日 不定休
駐 車 場 1台
ア ク セ ス JR瀬高駅より徒歩10分
実 演・体 験 きじ車の絵付け体験1,000円／約1時間※要予約

大川組子の制作体験

住 所 大川市大字向島1037-1
問い合わせ先 木下木芸
 ☎0944-86-6328
開 館 時 間 9:00~18:00
休 館 日 日曜日、祝日、第2第4土曜日
駐 車 場 5台
ア ク セ ス 西鉄柳川駅より車で15分
実 演・体 験 体験あり／50分※要予約 実演見学あり※要予約

柳川まりの制作体験

住 所 柳川市辻町1
問い合わせ先 ハラダ手芸店
 ☎0944-73-2237
開 館 時 間 8:30~20:00(日祝 9:00~19:00)
休 館 日 第1第3日曜日
駐 車 場 5台
ア ク セ ス 西鉄柳川駅より徒歩15分
実 演・体 験 まり教室／月5回(開催日は要問合せ)／13:00~16:00／1,000円(材料費別)※最大12人

アクロス福岡 匠ギャラリー



福岡県の国指定7品目と県指定30品目の伝統工芸品を常設展示している施設。ギャラリー内では日本語だけでなく英語・韓国語・中国語の3カ国語の表記があるほか、DVDで外国の方にも分かりやすく伝統工芸を紹介しています。

また、次世代への紹介と継承に向けて小学校からの社会科見学の受入れを行うことで、伝統工芸を通じた新たな交流のきっかけづくりの場となっています。



常設展示のほか、週替わりで福岡県内のプロの民芸作家による作品展も開催しており、様々なジャンルの「匠の技」が楽しめます。

地域の伝統工芸、民芸品の発表の場としても利用できます。
企画展ご希望の方はお問い合わせください。



【住】福岡市中央区天神1-1-1アクロス福岡 2F
【問】文化観光情報ひろば ☎092-725-9100
【時】10:00～18:00
【休】年末年始(12/29～1/3)
【料】無料
【交】福岡市営地下鉄天神駅から徒歩3分(16番出口)
●MAP38

はかた伝統工芸館



【住】福岡市博多区上川端町6-1(柳田神社横)
【問】092-409-5450
【時】10:00～18:00
【休】水曜日(祝日の場合は翌日)、12/29～31
【料】無料
【P】なし
【交】地下鉄祇園駅・中洲川端駅より徒歩5分
●MAP39

博多織、博多人形、博多曲物、博多独楽、博多鉢、博多張子、マルティグラス、筑前博多矢などを展示。

「博多町家」ふるさと館



【住】福岡市博多区冷泉町6-10
【問】092-281-7761
【時】10:00～18:00
【休】12/29～31
【料】大人200円(20人以上の団体150円)小中学生無料
【P】なし
【交】地下鉄祇園駅より徒歩5分
●MAP40

明治・大正期を中心に博多の暮らしと文化を広く紹介。「実演の見学」/10:00～12:00、14:00～16:00/火曜日:博多張子、水曜日:博多独楽、木曜日:博多曲物、金土日曜日:博多人形「博多織実演の見学・体験」/毎日11:00～13:00、15:00～17:00

※各市町村から推薦があった施設を掲載しています

太宰府館



【住】太宰府市宰府3-2-3
【問】092-918-8700
【時】10:00～18:00
【休】水曜日
【料】無料
【P】なし
【交】西鉄太宰府駅より徒歩2分
●MAP41

「木うそ絵付け体験」木うそ(箱代含む)1個あたり730円～1,570円(サイズによって変わります)/1時間程度/1室1時間310円※5名以上から※2週間前までに要予約

あがの 上野の里ふれあい交流会館(陶芸館)



【住】田川郡福智町上野2811
【問】0947-28-5864
【時】10:00～17:00
【休】火曜日(祝日の場合は翌日)
【料】無料
【P】150台
【交】平成筑豊鉄道赤池駅より徒歩30分
●MAP43

5窯元にて陶芸体験可能(庚申窯・堀田窯・昇龍窯・梶原窯・柴ノ門窯)。体験料金、時間については各窯で異なります。※要予約

筑後市郷土資料館



【住】筑後市大字水田17-2
【問】0942-53-8246
【時】9:00～17:00
【休】月曜日(祝日の場合は翌日)、12月28日～1月4日
【料】無料
【P】普通車10台程度
【交】JR羽犬塚駅より徒歩25分
●MAP45

赤坂人形、久留米餅、筑後手すき和紙、水田和傘、考古資料などを展示。

やめ 八女伝統工芸館



【住】八女市本町2-123-2
【問】0943-22-3131
【時】9:00～17:00
【休】月曜日、年末年始
【料】無料
【P】50台
【交】八女ICより車で10分
●MAP47

八女福島仏壇の宮殿づくり制作実演・八女竹細工の実演・販売。八女福島仏壇、八女提灯、八女石灯ろう、八女手すき和紙、など八女を代表する工芸品を展示。日本一の大型金仏壇、日本一の八女石灯ろう、ジャンボ八女提灯なども。

こいしわら 小石原焼伝統産業会館



【住】朝倉郡東峰村小石原730-9
【問】0946-74-2266
【時】9:00～17:00
【休】火曜日(祝日の場合は翌日)
【料】大人210円、高校・大学生158円、小・中学生105円
【P】100台
【交】杷木ICより車で30分
●MAP42

「陶芸体験」■絵付け/湯呑735円～、5寸皿1,050円、マグカップ1,575円 ■手びねり/500g/1,260円
「陶芸コース」1日コース(月2回)10,500円、半日コース(月2回)6,300円

久留米地域地場産業振興センター



【住】久留米市東合川5-8-5
【問】0942-44-3700
【時】10:00～17:00
【休】年末年始
【料】無料
【P】250台
【交】久留米ICより車で3分
●MAP44

「餅の手織り体験」無料/30分※10名以上の場合は要予約

広川町産業展示会館



【住】八女郡広川町大字 日吉1164-6
【問】0943-32-5555
【時】9:00～18:00
【休】第2水曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始
【料】無料
【P】50台
【交】広川ICより車で3分
●MAP46

「久留米餅で作るパッチワーク教室」定員60名/毎年2月中旬に申込み/受講料要

やめ 八女手すき和紙資料館



【住】八女市本町2-123-2
【問】0943-22-3131
【時】9:00～17:00
【休】月曜日、年末年始
【料】無料
【P】50台
【交】八女ICより車で10分
●MAP48

「八女手すき和紙の制作体験」600円～(はがき、うちわ、名刺など) 9:00～16:00/30分～2時間程度※要予約

福岡県庁展望室・物産観光展示室

住 所 福岡市博多区東公園7-7県庁舎11階
問い合わせ先 公益社団法人福岡県物産振興会
 ☎092-651-7288
開館時間 9:00～17:15
休館日 土曜日、日曜日、祝日、年末年始
入場料 無料
駐車場 なし
アクセス JR吉塚駅より徒歩10分
販売 なし
展示内容 経済産業大臣指定伝統的工芸品・福岡県知事指定特産民芸品・市町村推薦特産品など

●MAP49



佐賀県産業振興センター

住 所 佐賀市松原1-2-35
 佐賀商工会館内1階・2階
問い合わせ先 ☎0952-24-5161
開館時間 10:00～18:30
休館日 毎月最終日曜日、年末年始
入場料 無料
駐車場 20台
アクセス 佐賀駅からバス「県庁前」下車徒歩1分
販売 あり
展示内容 伊万里・有田焼、唐津焼、佐賀錦、鹿島錦、白石焼、肥前びどろなど

●MAP50



別府市竹細工伝統産業会館

住 所 大分県別府市東荘園8-3
問い合わせ先 ☎0977-23-1072
開館時間 8:30～17:00
休館日 月曜日(祝日の場合翌火曜日)、12月29日～1月3日
入場料 高校生以上300円、小中学生100円(20名以上団体割引あり)
駐車場 30台
アクセス JR別府駅(東口)からバス「竹細工伝統産業会館前」下車すぐ
販売 あり
体験 竹鈴300円/30分、コースター400円/90分、花かご700円/120分※要予約
展示内容 竹工芸品

●MAP53



佐土原歴史資料館「鶴松館」

住 所 宮崎市佐土原町上田島8202-1
問い合わせ先 ☎0985-74-1518
開館時間 9:00～16:30
休館日 月曜日(祝祭日の翌日)、12月29日～1月3日
入場料 無料
駐車場 100台
アクセス JR宮崎駅よりバス「佐土原小」下車、徒歩3分
販売 なし
体験 佐土原人形、久峰うずら車の絵付け
 教室(無料10:00～12:00)※要予約
展示内容 佐土原人形、久峰うずら車

●MAP54



長崎県伝統工芸品展示場「ながさき匠の館」

住 所 長崎市大黒町3-1県営バスターミナル2階
問い合わせ先 ☎095-821-6580
開館時間 9:00～18:00(7・8月は19:00まで)
休館日 12月29日～1月3日
入場料 無料
駐車場 なし
アクセス JR長崎駅より徒歩1分
販売 あり(一部)
体験 「長崎風制作体験」5～100名(1回)1,600円～/60分、「佐世保独楽絵付け体験」10～12名(1回)小中高生1,000円～/一般1,500円～/20分※要予約
展示内容 三川内焼、波佐見焼、長崎べっ甲、五島さんご、古賀人形など

●MAP51



熊本県伝統工芸館

住 所 熊本市中央区千葉城町3-35
問い合わせ先 ☎096-324-4930
開館時間 9:00～17:00
休館日 月曜日(祝日の場合は最終祝日の翌日)、12月28日～1月4日
 ※H25.3.31まで耐震工事のため臨時休館
入場料 無料(常設展示室のみ有料)
駐車場 20台
アクセス バス・市電共に「市役所前」下車徒歩6分
販売 あり
展示内容 陶磁器(小代焼・天草陶磁器など)、金工品(肥後象がん、手打刃物)、木工品、竹細工、紙工品、郷土玩具など

●MAP52



奄美の里

住 所 鹿児島市南栄1-8
問い合わせ先 ☎099-268-0331
開館時間 9:00～17:00
休館日 無休
入場料 大人400円、高校生300円、小中学生200円(それぞれ団体割引あり)
駐車場 150台
アクセス JR谷山駅より徒歩15分
販売 あり
体験 「大島袖手織機体験」3,000円(入園券とセットで3,300円)/90分※要予約
展示内容 大島紬(藤都喜工門美術館、奄美生活資料館併設)

●MAP55



那覇市伝統工芸館

住 所 沖縄県那覇市牧志3-2-10てんぶす那覇2階
問い合わせ先 ☎098-868-7866
開館時間 特別展示室・体験工房9:00～18:00
 販売場9:00～20:00
休館日 12月31日～1月2日
入場料 大人300円、高校生200円、小中学生100円(団体割引あり)
駐車場 81台
アクセス 沖縄ゆいレール牧志より徒歩4分
販売 あり
体験 「琉球ガラスでグラス」2,500円/10分、「壺屋焼シーサー」3,000円/120分
展示内容 壺屋焼、首里織、琉球びんがた、琉球漆器、琉球ガラスなど

●MAP56



工芸品関連通年イベント



- 2月 上旬** **バレンタイン猪口展**
 [所] 上野の里ふれあい交流会館 ほか
 [問] 上野焼協同組合 ☎0947-28-5864
- 2月上旬~4月上旬** **柳川雛祭りさげもんめぐり**
 [所] 柳川市内各所
 [問] 柳川市観光案内所 ☎0944-74-0891
- 3月 中旬** **藍・愛・で逢いフェスティバル**
 [所] 久留米地域地場産業振興センター
 [問] 久留米絹協同組合 ☎0942-44-3701
- 4月** **上野焼春の陶器まつり**
 [所] 上野の里ふれあい交流会館 ほか
 [問] 上野焼協同組合 ☎0947-28-5864
- 4月** **大川伝統工芸展(われら職人展)**
 [所] 旧吉原家住宅
 [問] 一般財団法人大川インテリア振興センター ☎0944-87-0035
- 5月 3~5日** **春の小石原民陶むら祭**
 [所] 小石原各所
 [問] 東峰村商工会 ☎0946-74-2121
- 5月 連休中** **かわら陶器まつり**
 [所] 香春町内蔵元5か所・道の駅香春(1日のみ)
 [問] 香春町商工会 ☎0947-32-2070
- 5月 初旬** **一の瀬焼 春の陶器まつり**
 [所] うきは市浮羽町朝田
 [問] 一の瀬焼窯元組合 ☎0943-77-2749
- 5月 第3土曜日** **緋の里巡りin筑後**
 [所] 熊野区公民館
 [問] 筑後市観光協会 ☎0942-53-4229
- 6月** **女性伝統工芸士展**
 [所] アクロス福岡2F 交流ギャラリー ほか
 [問] アクロス福岡文化観光情報ひろば ☎092-725-9100
- 9月** **福岡県伝統的工芸品展**
 [所] アクロス福岡2F 交流ギャラリー ほか
 [問] 福岡県伝統的工芸品振興協議会 ☎092-622-8780
- 9月 12~18日** **放生会**
 [所] 筥崎宮
 [問] 筥崎宮 社務所 ☎092-641-7431

- 9月** **筑前あしや だごびーなとわら馬まつり**
 [所] 芦屋町民会館
 [問] 芦屋町観光協会 ☎093-221-1001
- 9月 中旬** **糸島クラフトフェス**
 [所] 志摩中央公園
 [問] 糸島市役所(代表) ☎092-323-1111
- 9月 秋分の日** **八女の祭り「あかりとちやっぽんぼん」**
 [所] 八女伝統工芸館及びその周辺
 [問] 八女市役所観光振興課 ☎0943-23-1192
- 9月 第3土曜日** **広川かすり祭**
 [所] 広川町産業展示会館
 [問] 広川町産業展示会館 ☎0943-32-5555
- 9~10月 ころ** **吾陵展**
 [所] 中ノ島公園四季彩館
 [問] ミリカローデン那珂川 ☎092-954-2211
- 10月** **大川木工まつり**
 [所] 大川産業会館・大川中央公園 ほか
 [問] 大川市役所(代表) ☎0944-87-2101
- 10月** **秋の小石原民陶むら祭**
 [所] 小石原各所
 [問] 東峰村商工会 ☎0946-74-2121
- 10月** **上野焼秋の窯開き**
 [所] 上野の里ふれあい交流会館 ほか
 [問] 上野焼協同組合 ☎0947-28-5864
- 10月 末** **星のであい展**
 [所] 小郡市内各所
 [問] 翔工房 ☎0942-72-8890
- 10月 末** **高取焼陶器まつり**
 [所] 永満寺窯・内ヶ磯窯・高取焼工房
 [問] 高取焼工房末吉宏光 ☎0949-24-6500
- 11月 第2週** **博多織評会**
 [所] 承天禅寺
 [問] 博多織工業組合 ☎092-472-0761
- 11月 初旬** **一の瀬焼 秋の陶器まつり**
 [所] うきは市浮羽町朝田
 [問] 一の瀬焼窯元組合 ☎0943-77-2749
- 11月 第3土曜日** **緋の里巡りin筑後**
 [所] 熊野区公民館
 [問] 筑後市観光協会 ☎0942-53-4229

お問い合わせ



文化観光情報ひろば

アクロス福岡2階の「文化観光情報ひろば」では、九州・山口の芸術文化や観光に関する情報をチラシやパンフレット等で提供しています。また、作品展や講座などのイベントも開催しています。文化と観光の交流拠点としてご利用ください。

アクロス福岡2階(福岡市中央区天神1-1-1) 開館時間/10:00~18:00
 休館日/年末年始 TEL 092-725-9100 FAX 092-725-9102
 e-mail jyouhou@acros.or.jp http://www.acros.or.jp/